

## 製品名: JAML ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe86808

研究使用のみ

### 概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

### 応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000, IP 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:44 kDa; Observed MW:60 kDa

### 抗原情報

遺伝子名	JAML
別名	AMICA; Gm638; AMICA1; CREA7-1; CREA7-4
遺伝子 ID	120425
SwissProt ID	Q86YT9
免疫原	ヒト JAML の組み換えタンパク質

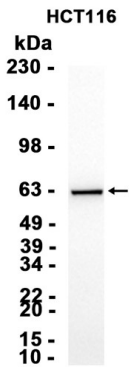
### 背景

白血球の細胞膜タンパク質で、隣接する上皮細胞および内皮細胞に存在する細胞膜受容体 CXADR との相互作用を介して、白血球の遊

走および活性化を制御します。両受容体の相互作用は、上皮に存在し、組織の恒常性と修復に関与する T 細胞サブpopulation であるガンマデルタ T 細胞の活性化を媒介します。上皮 CXADR に結合すると、JAML は PI3 キナーゼおよび MAP キナーゼを介してガンマデルタ T 細胞における下流の細胞シグナル伝達イベントを誘導します。その結果、T 細胞による増殖とサイトカインおよび成長因子の産生が促進され、上皮組織の修復が刺激されます。また、上皮および内皮 CXADR との接着相互作用を介して、上皮組織および内皮組織内での白血球の遊走を制御します。

## 研究分野

## 画像データ



JAML ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HCT116 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。